

第 92 回大阪地方メーデー宣言（案）

本日、私たちは第 92 回大阪地方メーデーを開催した。

日本初のメーデーから 100 年の節目であった昨年、そして 1921 年に大阪で初めて開かれたメーデーから 100 年目となる今年。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまでのような多くの仲間が同じ場所に結集することが叶わない状況が続いている。

しかし、労働の尊厳を確立し、称えるメーデーの意義は不変である。WEB を通じてであるが、働く仲間と、時間や場所の制約を超えて思いを結集し、声を上げていこう。

東日本大震災、あの未曾有の大惨事から 10 年が経った。災害で無念にも尊い命を失った方々、困難な状況の中でも懸命に前を向き、歩みを進めている方々に今一度思いを寄せたい。復興はいまだ道半ばであるが、時間の経過とともに災害の記憶や教訓は薄れつつある。他方、自然災害の脅威は、幾度となく私たちの暮らしを脅かし続けている。近年、大阪でも大阪府北部地震、台風、豪雨等の大きな自然災害を受け、さらには南海トラフ巨大地震の発生も予測される中、連合大阪として、防災・減災の取り組みとあわせて、震災を風化させない幅広い運動を展開していく。

新型コロナウイルス感染症は、かけがえのない命と自由を奪いながら、いまだ世界中で猛威を振るい、私たちの生活・雇用・経済に多大な影響をもたらし続けている。日々感染の危険と直面しながら、私たちの命と生活を懸命に支え続けている医療従事者をはじめ、多くの働く仲間がいることを決して忘れず、すべての働く仲間の奮闘を称えるとともに、感謝の気持ちを表そう。

またコロナ禍は、社会の脆弱さとひずみを顕在化した。私たちは、企業規模間、雇用形態間、男女間などの格差是正にむけて分配構造の転換に取り組むとともに、社会にはびこる偏見や差別、誹謗・中傷に毅然と立ち向かい、多様性を認め合い、活かし合う社会づくりを力強く進めていく。この思いを、大阪をはじめ、すべてのメーデー参加者とともに確認し、発信していく。

一方、国際社会では、自由で民主的な社会の侵害という、断じて許されない事態が起きている。長らく民主化を支援してきたミャンマーでの、国軍クーデターによる市民への弾圧で多くの犠牲者を出している現状に対し、私たちは強く抗議する。また、新型コロナウイルス感染症のワクチンを巡る偏狭なナショナリズムの動きを看過することはできない。人類共通の脅威に対し、世界がひとつになって協力していくことを心から望んでいる。

SDG s（持続可能な開発目標）を世界で推し進め、誰一人取り残されることのない社会、地域の実現に向けて、国際労働組合総連合（ITUC）と連帯し、各国政府に対して国際協調の精神にもとづく行動を求めていく。

今こそ心をひとつに、分断から連帯へ。支え合い・助け合いと共生の社会の実現を。私たちが先頭に立って、働く仲間をまもり、笑顔のために感謝と思いやりの絆をつなぎ、希望あふれる未来を切り拓いていこう。

以上、宣言する。

2021 年 5 月 1 日

第 92 回大阪地方メーデー